

令和 7 年 5 月 21 日 ・ 22 日

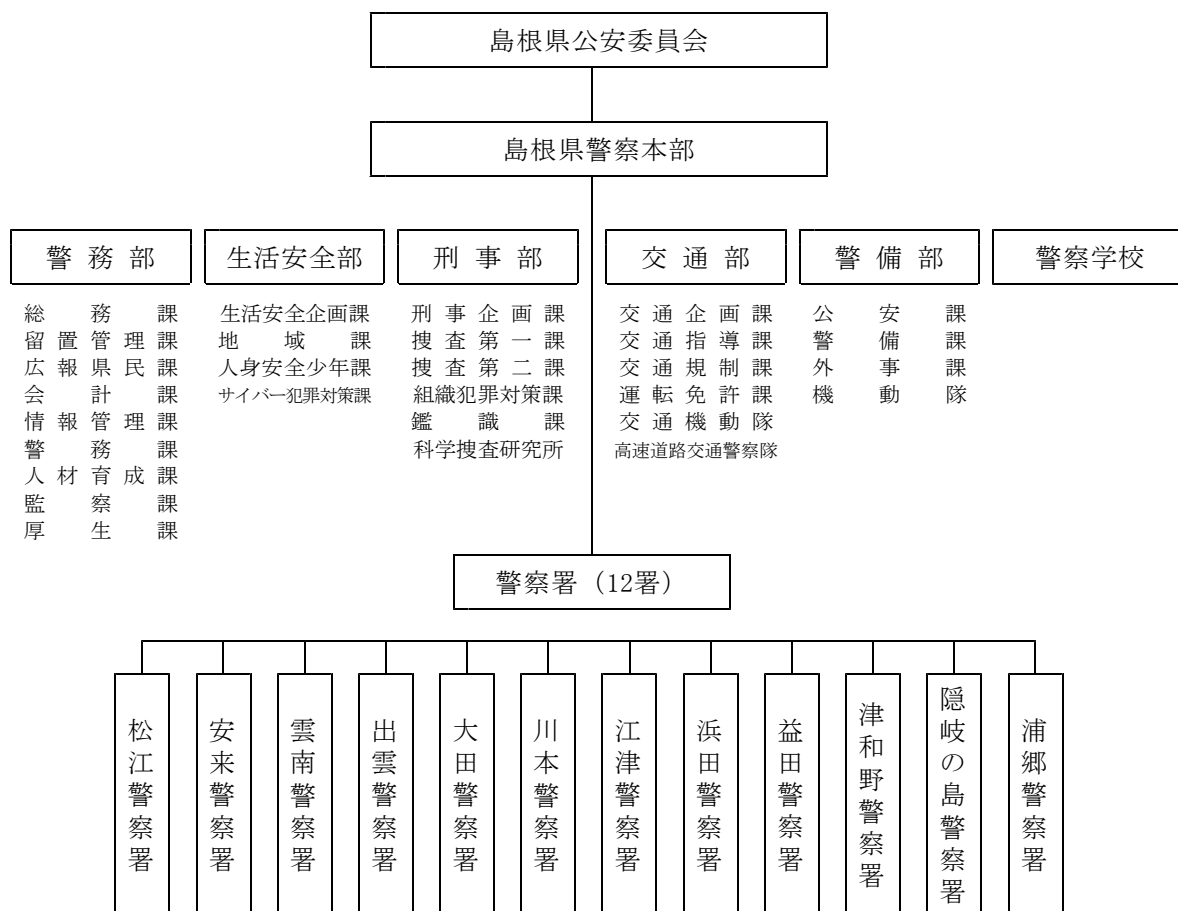
総 務 委 員 会 資 料

○ 主要施策の概要及び課題	
・ 組織の概要	… 1 頁
・ 主要施策の概要	… 2 頁
・ 治安対策の推進（課題）	… 3 頁
・ 交通安全対策の推進（課題）	… 4 頁



島 根 県 警 察 本 部

1. 機構図



2. 予算額

(一般会計)

(単価 千円)

部 名	令和 7 年度当初 (A)	令和 6 年度当初 (B)	比 較 (A) - (B)	(A) / (B) (%)
警 察 本 部	21,681,219	22,247,952	△566,733	97.5

3. 人員配置表

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

部 名	警察官	一般職員	合 計
警 察 本 部	578	251	829
警 察 署	954	72	1,026
計	1,532	323	1,855

第 2 期 島 根 創 生 計 画

基本目標 VIII 安全安心な暮らしを守る

政 策 2 安全な日常生活の確保

施策 4. 治安対策の推進

特殊詐欺等被害防止対策事業

38,912 千円

事業概要

特殊詐欺や SNS を悪用した犯罪等の被害防止のため、犯罪手口や被害年齢層の特性を踏まえた啓発活動等の諸対策を推進

- 電子メール、SNS 等による防犯情報の発信
- 電話による注意喚起を行うコールセンター業務の委託

施策 3. 交通安全対策の推進

交通安全教育事業

26,336 千円

事業概要

交通事故防止のため、子供から高齢者に至る幅広い世代を対象とした、きめ細やかな参加・体験型の交通安全教育活動を実施

- 学校等における幼児・児童対象の交通安全教室
- 交通安全教育機器を活用した高齢者対象の体験型の講習

施策 4. 治安対策の推進

災害対策事業

11,397 千円

事業概要

大規模災害等緊急事態発生時に迅速・的確に対処するため、各種訓練の実施、関係機関との連携強化に向けた取組みを推進

- 関係機関との合同訓練の実施
- 警察活動用資機材・備蓄食料の整備

施策 4. 治安対策の推進

警察官採用活動強化事業

13,383 千円

事業概要

治安課題への対応に必要な人的基盤を確保するため、警察の仕事の魅力ややりがい、職場環境などを知ってもらうための採用募集活動を県内外において強化

- 高校、大学、専門学校等における業務説明会の開催や合同企業説明会への参加
- 職業体験、施設見学、職員との意見交換を一体的に行う「オープンポリス」の開催

1 現状と課題

- 令和6年中の特殊詐欺の被害件数は78件（前年比＋7件）、被害金額は約1億4,899万円（前年比－約538万円）【暫定値】
- 令和6年中のSNS型投資・ロマンス詐欺の被害件数は61件、被害金額は約5億7,951万円【暫定値】

2 対策**(1) 直接的な被害阻止対策**

- 国際電話の利用休止について、各種防犯教室や交通教室において、申込書の作成や提出等の支援を強力に推進
- ATMコーナーで携帯電話を使用しながらATMを操作している者を、他の利用者が発見した場合、金融機関職員に知らせることを広報啓発

(2) 特殊詐欺等に対する抵抗力の向上

詐欺被害の手口紹介ではなく、具体的な被害防止ポイントを繰り返し周知し、県民の特殊詐欺等に対する抵抗力向上を推進

(3) 各種広報媒体等を活用した広報啓発

チラシ、ポスター、LINE、YouTube等を活用した被害防止広報の実施
【コンビニ店員向け「声かけポイント解説動画」の作成・配信】



1 現状と課題

- 令和6年中の死者は9人（前年比－13人）で統計記録が残る昭和23年以降で最少、全国でも最少
- 死者及び重傷者の合計数は182人（前年比－14人）で、令和2年（196人）以降は横ばいで推移
- 死者及び重傷者に占める高齢者の割合は45.6%（前年比－1.8ポイント）で、依然として横ばいで推移

2 対策

(1) SSK対策の推進

死者・重傷者の割合が高い「速度（S）」・「飲酒運転（S）」・「高齢者（K）」に係る諸対策に重点を置いた取組を強化

- 生活道路、幹線道路等の交通実態に応じた可搬式速度違反自動取締装置の効果的な活用とともに、隣接警察署、隣接県警察等との連携による単一路線での一斉速度取締りの実施



【生活道路における速度取締り】

- 飲酒運転根絶ステッカー（自転車を含む。）を作成し、関係団体等と連携して酒類提供店等への配付及び来店客に対する飲酒運転根絶の啓発活動を推進
- （一社）日本自動車販売協会連合会島根県支部と連携した安全運転サポート車の試乗会、車両を用いた交通安全講習の実施など安全運転サポート車の普及啓発活動を推進



【安全運転サポート車試乗会】

(2) 反射材着用推進リーダー「キラリ推進隊」事業の展開

- 関係機関・団体、企業、地域住民等を反射材普及啓発の推進リーダー「キラリ推進隊」に委嘱
- 夕暮れ時から夜間に外出する際に率先して反射材を着用又はライトを使用し、呼び掛けてもらうことで、着用又は使用が当然となる環境を醸成



【キラリ推進隊委嘱式】